

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和 8 年度病害虫発生予察技術情報第 5 号

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等)の発生状況について

本年は果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ(写真 1)、ツヤアオカメムシ(写真 2)等)の発生が全国的に多く(6 月 24 日現在、26 府県で注意報発表)、県内においても技術情報第 1 号(4 月 14 日)、続いて注意報第 1 号(4 月 30 日)を発表し注意を呼びかけてきました。

フェロモントラップにおける 5 月の誘殺数は、県東部で 195 頭(平年 50.7 頭)、中央部で 914 頭(同 137.0 頭)、中西部で 538 頭(同 240.1 頭)、西部で 6,244 頭(同 172.1 頭)となっており、東部、中央部、西部では、本虫が大量発生した令和 6 年度よりも多く、過去 20 年で最も多い誘殺数となっています。6 月に入り誘殺数は一時減少したものの現在は増加に転じ、いずれの地域においても平年を上回る状態が続いており、例年の発生消長を考慮すると今後も増加傾向で推移すると考えられます(図 1)。

県内ではすでにウメ、スモモ、ビワにおいて、本虫による被害果の発生が確認されており、今後これらに加えてナシ、温州ミカン、ユズ、文旦、ポンカン、カキ等でも落果や奇形果等の被害が出る恐れがあります。園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤防除を実施してください。

薬剤防除に当たっては、高知県病害虫防除指針(高知県農薬情報システム(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>)内に掲載)を参照し、農薬使用基準の遵守及び周辺農作物等への飛散防止対策の徹底をお願いします。



写真 1 チャバネアオカメムシ



写真 2 果実を吸汁するツヤアオカメムシ(左)と防除後の園地(右)

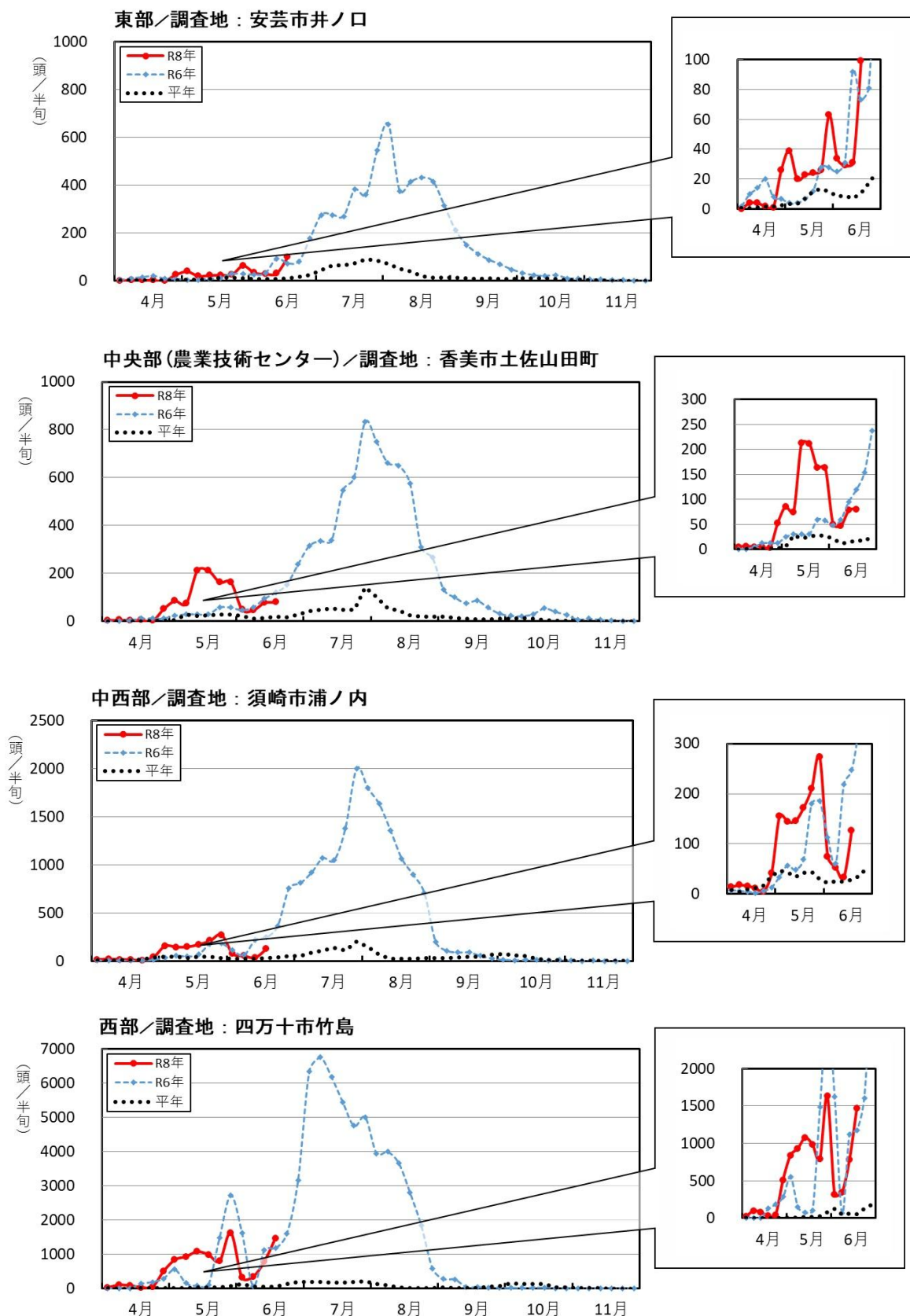


図1 フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数の推移

誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計
 平年値は平成27年～令和5年、令和7年の10か年の平均

お問合せは、病害虫防除所 (TEL : 088-863-1132) または環境農業推進課 (TEL : 088-821-4861) まで